

# 心のつらい方にどう接するかーケアと浄土真宗ー

私たちは、心のつらい方にどう接すればよいのでしょうか？

病気の方をお見舞いする際に、またお通夜やお葬式などの場で、はたまた被災された方に対して等々。

昨今、巷では「ケア」という言葉が注目されています。「緩和ケア」「グリーフケア」「震災後の心のケア」など。そこでいう「ケア」とは、一体何を指し、具体的にどう接してゆくことなのでしょう。

一方、私たちは親鸞聖人から心の救い（＝信心）を学んでいます。それは、「ケア」の目指すものと同じなのでしょう、それとも違うのでしょうか？

それを論ずる前に、「ケア」とは何かを学ぶ必要があります。今回は、緩和ケアスタッフとして20年の経験をお持ちの真宗僧侶、長倉先生におこしいただき、現場でのご経験をお聞かせいただき、謙虚に学ばせていただきたいと思います。その学びを通して、念仏に学ぶ者としての基本姿勢を少しでも明らかにしてゆけたらと企画いたしました。

日時 2011年7月21日（木）13時30～22日（金）16時30分  
場所 〒730-0801 広島別院 広島県広島市中区寺町1-19 TEL 082-231-0302  
日程

21日（木）	22日（金）
13時～13時30分 受付	9時～12時 ワーク②
13時30分～15時 公開講演会	12時～13時 昼食
15時15分～17時 ワーク①	13時～16時30分 ワーク③

講演 「悩める方々とともにービハーラ活動で学んだことー」

講師 長倉 伯博（ながくらのりひろ） 先生  
〈プロフィール〉

1953年鹿児島県生まれ。早稲田大学第一文学部東洋哲学科卒。龍谷大学大学院博士課程修了。浄土真宗本願寺派善福寺住職（鹿児島市）。浄土真宗本願寺派布教使。浄土真宗本願寺派ビハーラ活動推進委員。鹿児島刑務所教誨師。龍谷大学・滋賀医科大学・鹿児島大学、鹿児島女子短期大学非常勤講師。国立病院機構鹿児島医療センター緩和ケア委員。鹿児島緩和ケアネットワーク代表世話人会メンバー。鹿児島いのちの電話スーパーバイザー。読売テレビ宗教の時間「心の点滴」出演（1999年）。テレビ東京ドキュメンタリー人間劇場「心に愛の点滴を一命を見つめる僧長倉伯博」(2000年)で、病院での僧侶としての活動が紹介される。

参加費・定員

公開講演会 2000円（みみずくの会会員は1500円）・定員約100名

ワーク 6000円（1回2000円）

（みみずくの会会員は4500円・1回1500円）

締切 定員になり次第（講演会は申込み不要）・もしくは7月14日（木）

【主催】広島真宗カウンセリング学習会

【後援】ビハーラ安芸・広陵東組・安芸南組・佐伯東組（予定）

【お問い合わせ・お申し込み先】広島真宗カウンセリング学習会事務局 岩崎智寧（いわさきちねい）  
〒737-0051 呉市中央7-7-13 西教寺蔵本通支坊内 TEL 0823-21-2798 FAX 0823-21-2795  
お申し込みは、FAXかハガキで①郵便番号②おところ③お名前④電話番号⑤性別⑥参加の仕方（講演会・ワーク）⑦昼食800円（要・不要）を記入の上お申し込みください。